

感染症情報 3月11日～17日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,405例(堺市	69例)
②溶連菌感染症	536例(堺市	60例)
③RSウイルス感染症	228例(堺市	18例)
④咽頭結膜熱	95例(堺市	11例)
⑤伝染性紅斑	80例(堺市	7例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 559例(堺市 47例)

感染症報告数は前週比0.1%減の2,587件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、伝染性紅斑の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と同数、堺市は10%減であった。溶連菌感染症は府下で9%減、堺市で29%減であった。RSウイルス感染症は府下で1%増、堺市で22例→18例であった。咽頭結膜熱が府下で34%増、堺市では9例→11例であった。伝染性紅斑が府下で4%減、堺市で4例→7例となった。

インフルエンザは府下で前週964例→今回559例は42%減で定点当たりの報告数は3.18→1.85となった。堺市では前週83例→今回47例となった(43%減)。

麻疹の報告が府下で今回2例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は109例となった。風疹も府下で同3例あった(こちら堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は87例となった。